

県小学生バレーボール男女優勝大会 競技運営留意事項

鹿児島県小学生バレーボール連盟

理事長 良井秀明

競技委員長 田中憲一

1. 受付で参加料領収証とオーダーリストを受け取ってください。オーダーリストは第1試合が始まる前までに、各会場の本部席競技委員まで提出してください。JVA及び県未登録の選手は出場できません。スターティングラインナップシートは試合ごとに配布します。
2. 監督は試合の間、指導者講習会受講証明書を胸部に保持して、またベンチスタッフは規定の胸章を胸部に保持してください。
3. 組合せ表の「A、B…」はコート、「1、2…」は試合順を表しています。
4. 大会使用球は合成皮革新型軽量4号カラーボールです。(29年度)
【男子】 モルテン 【女子】 ミカサ 【混合】 モルテン
5. ベンチでのマナーを守ってください。ベンチスタッフの短パン類や襟無しシャツの着用はできません。また、公認審判服でのベンチ入りは認めていません。シャツの裾はズボンの中に入れてください。試合中のベンチスタッフのうちわの使用やタオルの肩がけは禁止します。(ベンチ服装の統一の遵守)
6. 公式練習は試合ごとに実施します。審判チームは試合後10分以内にプロトコールに入ってください。(連続した試合の場合は15分) 試合間の練習はパスのみ程度とし隣接コートへボールが行くことのないようにしてください。テクニカルタイムアウトは、1,2セットが11点、3セット目が8点で実施します。
7. 主審はJVA公認審判員及び県小連公認審判員の有資格者が行うようにします。(各チームの帯同審判員です。) 副審・記録員・点示員・線審は各チームより補助をお願いします。主審・副審は規定の審判服を着用することとします。上が白系、下が紺・黒系です。(短・長の笛は各チームで準備してください。)
8. 子どもたちの教育の場です。会場内での暴力的行為、暴言等教育的にふさわしくない行為は厳禁とします。応援席からの野次も厳禁です。
9. 会場設営及び片づけは、みんなで協力してするようにしてください。

体育館施設使用についてのお願い

1. 体育館の会場は基本的に午前8時30分です。あまりにも早く行って迷惑のかかることのないようにしてください。
2. 駐車場はみんなが使用し、他の施設の利用者も駐車されます。身勝手な行動で他の人に迷惑になるようなことはしないでください。子どもたちの行動に注意！
3. 会場に入る場合は必ず履物を靴箱に入れてください。また、子どもたちには自分たちの控え場所まで持っていくように指導してください。（入れる袋の準備を）
4. トイレを利用する場合は専用スリッパに履き替えてください。トイレにおむつや生理用品を流したり、置いたままにしないでください。トイレ内での喫煙もできません。また、スリッパもきれいに並べましょう。
5. 施設内のコンセントの利用や、施設内でのコンロの使用はできません。お湯等はポットに入れて必ず持参してください。
6. 体育館内は全て禁煙です。決められた場所での喫煙をしてください。
7. ジュースなどの空き缶やペットボトルは自分で持ち帰ってください。飲んだ場所にそのまま置かないでください。
8. 弁当を業者に頼まれる場合はよく引き取り時間等の打ち合わせをして、無責任な放置をしないでください。それができない場合は自分で持ち帰ってください。
9. 器具や設備等の破損をした場合は実費で弁償となります。注意してください。
10. 貴重品の取り扱いには十分注意してください。（自己責任です）
11. 館内のカーテンを電動で操作する場合は絶対に触らないでください。
12. 幼児がいる場合は危険な箇所での遊びはさせないように目配りをお願いします。
13. 帰られるときには周りをチェックして、忘れ物がないか、ごみくずが散乱していないか等確認してからお帰りください。（来た時よりもきれいに）

体育館使用のルールとマナーを必ず守ってください。

ベンチスタッフのベンチでの行動（マナー）について

日小連審判規則委員会確認事項（H18.12）

監督を含むチーム役員（ベンチスタッフ）は、ベンチに座っている限りコート上の競技者に対し指示を出すことが許されます。また、監督は試合を妨害したり、遅延しない限り、アタックラインの延長線からウォームアップ・エリアまでのフリーゾーンの範囲内では立ったまま、あるいは歩きながらコート上の競技者に指示を与えることができます。ただし、国内大会においては、ラリー中はベンチにすわっていないければなりません。

《注意》

監督がコートに近づく主たる目的は、コート上の競技者に対して、競技に必要な指示を与えるためであることを理解して行動してください。

過度に目的から逸脱した行為に対しては、競技規則第22条によって処置します。監督を含めベンチスタッフが自然発生的に喜びをあらわす表現として偶発的に立ち上がったたりする行為は許容範囲ですが、監督以外のチーム役員が毎回のよう^に立上ったり、あるいはベンチから数歩前に出たりする行為はルール違反です。また、監督がコート上の競技者とハイタッチや飛んだり跳ねたりする行為、また相手を威嚇するような行為もルール違反となります。

監督が指示の目的なしにコートに近づくことはできません。

（得点をしたからといって、ばんざいやガッツポーズ、あるいは拍手だけでコートに近づいてはいけません。）

応援についてのお願い

1. 子どもたちの教育の場です。子どもたちのプレーには惜しみない拍手を送ってあげましょう。
2. 子どもたちを野次ったり、相手チームの子どもの背番号を言ったりするような行動は慎みましょう。
3. 会場内ではカメラのストロボ撮影は禁止です。カメラの動作確認をしてから使用してください。
4. 応援グッズで太鼓やラッパなど鳴り物は禁止です。また、笛と紛らわしい音響の出る物や、ペットボトルの玉入りも使用できません。そして大型メガホンなど大きく音が出る物など相手を威嚇するようなものも禁止とします。
5. 試合中でセット間の応援席の移動はしないでください。